

新技術・情報名	マルチ栽培における灌水時期と果実品質
場所名	長崎県果樹試験場
<p>1. 成果の内容</p> <p>1) 技術・情報の内容及び特徴</p> <p>マルチ栽培は、降雨を遮断して収穫時の糖度を高くする技術だが、同時に酸含量も高くなる。そこで、興津早生を用い、灌水時期（150ℓ／樹）と灌水後の果実品質の関係から、減酸に有効な灌水時期を検討した。</p> <p>(1) 9月中旬の灌水開始期から収穫期までの酸含量の減少は酸含量の高い区（酸含量2.3以上の区）の方が低い区（酸含量2.0の区）に比べると減酸量は大きかった。</p> <p>(2) 酸含量が高い区では9月中旬、10月上旬の灌水で減酸量が大きく、酸含量が低い区では灌水による減酸量にほとんど差はなかった。</p> <p>(3) 酸含量が高い区では、9月中旬に灌水した場合が他の時期に灌水した場合に比べ灌水後2週間の減酸量が大きかった。</p> <p>(4) 増糖量は、酸含量が高い区で9月中旬に灌水したものがやや低かった。</p> <p>(5) 以上のことから9月中旬～10月上旬に灌水が減酸に効果がある。</p> <p>2) 技術・情報の適用効果</p> <p>9月中旬から10月上旬までの灌水は減酸に効果がある。</p> <p>3) 適用範囲</p> <p>マルチ栽培園</p> <p>4) 成果の利活用・普及指導上の留意点</p> <p>早い時期の灌水は糖度に影響するので注意する。</p>	

2. 具体的データ

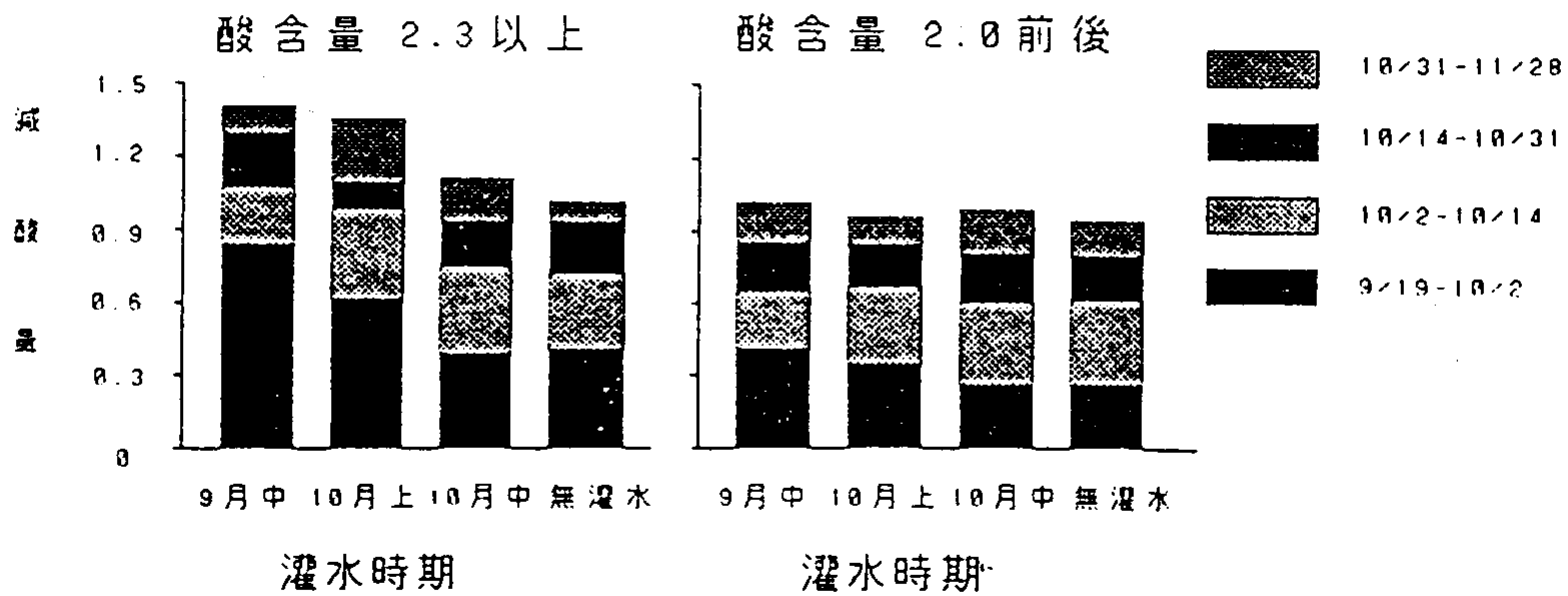


図1 灌水時期と減酸量との関係

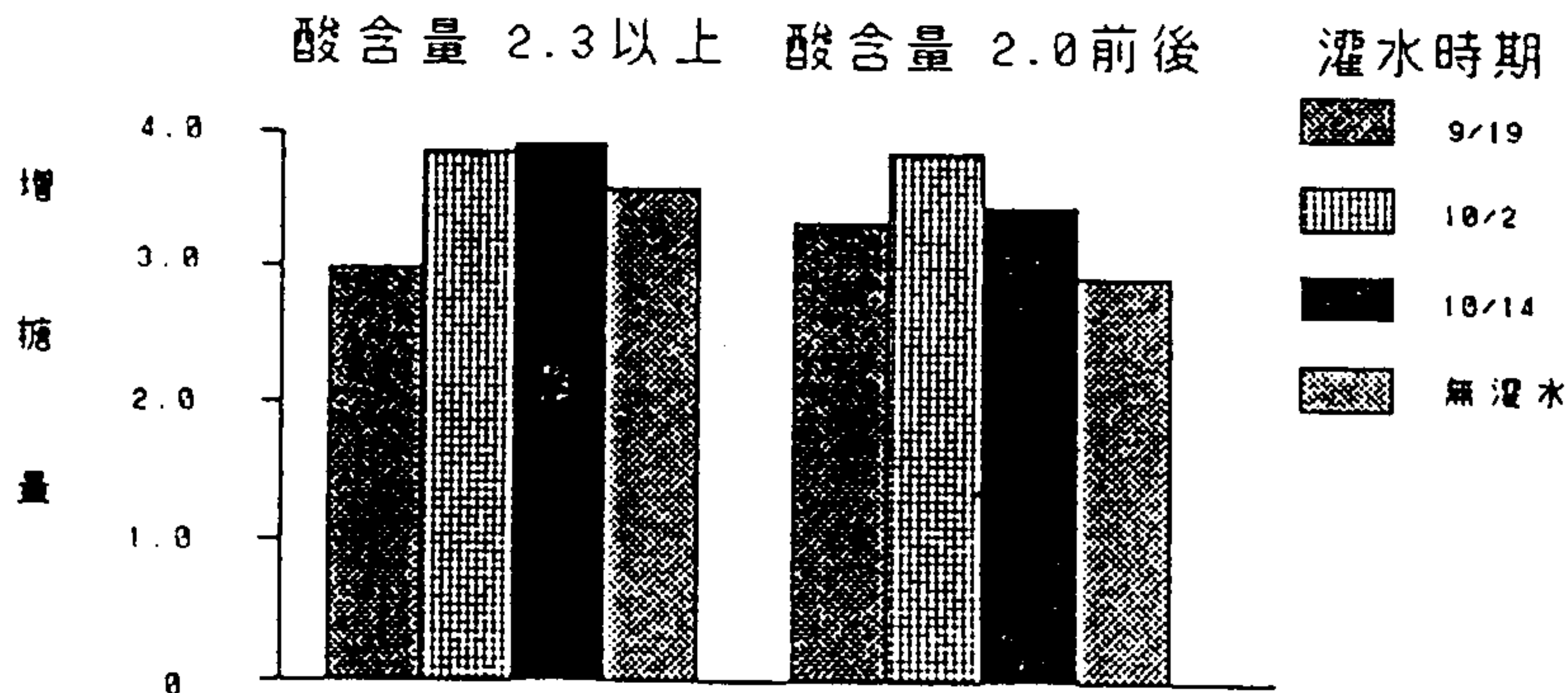


図2 灌水時期と増糖量との関係

表1 灌水時期と収穫時の果実品質（11月28日収穫）

処理区	糖度	酸含量
9月中	2.3	11.6
	2.0	12.1
10月上	2.3	13.2
	2.0	12.6
10月中	2.3	13.4
	2.0	12.5
無処理	2.3	11.9
	2.0	12.7

3. その他特記事項

担当部科名：常緑果樹科

研究課題名：温州ミカンの高品質果実生産技術の確立

研究期間：平成元年～5年

発表資料名等：平成元年、2年、3年度長崎県果樹試験場業務報告